

# 第2回栄養管理研修会

(管理栄養士・栄養士)

令和5年11月24日(金)

岡山県医師会館 4階 401会議室

Zoomミーティングによるオンライン

[午前]

○ 講演

演 題 『医療現場で活用する実践的コミュニケーション研修』

講 師 株式会社スーペリア 代表取締役 曾我香織氏

[午後]

○ 講演

演 題 『栄養士の視点から考える循環器疾患と栄養アセスメント』

講 師 社会医療法人近森会 近森病院

臨床栄養部 部長 宮島功先生

第2回栄養管理研修会（管理栄養士・栄養士）のアンケート集計（令和5年11月24日）

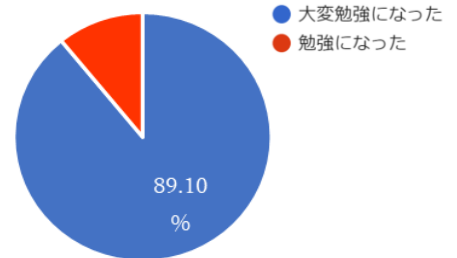
（ 51病院58名出席・46名回答 ）

1. 講演『医療現場で活用する実践的コミュニケーション研修』を聞いて。

【講師 株式会社スーペリア 代表取締役 曾我香織氏】

- A. a. 大変勉強になった                      c. どちらとも言えない  
b. 勉強になった                            d. 勉強にならなかった

a	b	c	d	未記入
41	5			



B. 感想があれば一言。

- ・コーチングの話を詳しく聞けてよかった。スタッフおよび患者さんとのコミュニケーションに活かします
- ・相手に合わせたコーチングについて考えようと思った
- ・どんな性格の人とでもコミュニケーションが取れるよう、対応スキルを磨きたい
- ・コミュニケーションの大切さはわかったが、今回の内容はかなりハードルが高かった
- ・自分の伝え方の弱いところや相手への伝わり方を（感覚はそれぞれ違うと）意識して、コミュニケーションをとってみようと思った
- ・相手に合わせてコミュニケーション方法を変えるという具体的な方法を学ぶことができて勉強になった
- ・自分のパーソナリティと相手のパーソナリティが分かるとよりコミュニケーションがスムーズと感じた
- ・業務中、コミュニケーションの取り方で悩むことも多くあるため、とても参考になった
- ・現代社会にとってコミュニケーションをとる難しさを改めて実感した
- ・いろいろなタイプの人とコミュニケーションをとるときに声の掛け方に気をつけていこうと思った
- ・自身のコミュニケーションの仕方を理解するだけでなく、他職員や患者のコミュニケーションの仕方を理解して相手に合わせることで、仕事を進めやすくすることが分かり、実践していきたいと思った
- ・自分がされて嬉しいことが皆あてはまるわけではないという事がわかった
- ・馬が合わないと思っていた方でも強みと弱みの違いを活かして話をしてみようと思った
- ・自身が気を付ける点だけでなく、他職種との関わりや後輩の育成でも役立つポイントを聞くことができてよかった
- ・自分のスタイルを理解した上での相手との接し方が必要とわかった
- ・「自分を知る、相手を知る」方法として分かりやすかった
- ・中堅スタッフとして上にも下にも実践出来るコミュニケーションを身につける勉強にとってもなった

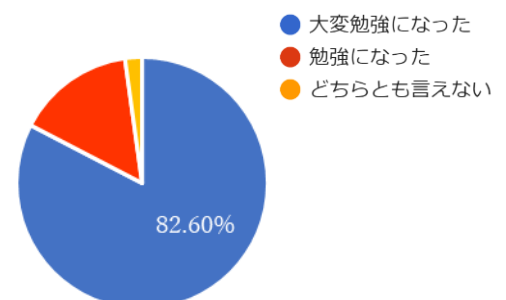
- ・ 2時間があったという間でとても勉強になった。タイプ別に自分からのアプローチを変えるようにしたいと思う。大きなヒントをいただいた感じで、明日からがんばれます!!
- ・ 他職種、同僚とのかかわり方の勉強になった
- ・ 同じ職場には、同じ考え方だけの人でなく様々な考え方の人がいるため、その人に合った声かけがあるということと、そのタイプの人で全く、対応が違うことが分かった
- ・ 同じ科でも他職種。まとめるのはとてもパワーがいる。1つのテーマ(目標)があれば、同じ方向を向いてくれるかなあ
- ・ ソーシャルスタイルを知ることで、自分のこと、職場のスタッフのことがわかり、特徴を知れてとても勉強になった
- ・ ソーシャルスタイルに応じたコミュニケーションの取り方等、日常業務に生かしたい
- ・ ソーシャルスタイル別の特性や効果的な認証が興味深かった
- ・ ソーシャルスタイル理論で自己の傾向もわかった。とても興味深い内容であった。今後のコミュニケーションに取り入れていきたいと感じた
- ・ タイプ別に自分、相手を分類することで解決の糸口が見えた気がした
- ・ タイプによってほめ方も違うということを知れてよかった。今後取り入れていきたいと思う
- ・ タイプによって捉え方が違い、効果的な対応も違うことがよく分かった
- ・ タイプが合わない人にもアプローチの方法次第では強みに変えられることが分かった
- ・ 個々のタイプによって効果的な指導方法があり、具体例も分かりやすく大変勉強になった
- ・ 個々のタイプを知って対応していくことが大切だと感じた
- ・ 相手のタイプによって接し方を変えるのはわかっていたが、褒め方まで変えるということが勉強になった
- ・ 相手のタイプを考えつつ、様々なアプローチをして相手に届く話をしたと思った
- ・ 自分のタイプを理解する事で、自分のことを大切に出来るのだと思った
- ・ とても分かりやすい内容で、目からウロコだった。ぜひ取り組んでみたいと思う
- ・ 他院の栄養士と話せて良かった。例えが多くて分かりやすかった
- ・ グループワーク(?), なかなか話が進まず…微妙だったが、先生のお話は聞き取りやすく、とてもよかった

2. 講演『栄養士の視点から考える循環器疾患と栄養アセスメント』を聞いて。

【講師 社会医療法人近森会 近森病院 臨床栄養部 部長 宮島 功 先生】

- A.      a. 大変勉強になった                      c. どちらとも言えない  
           b. 勉強になった                        d. 勉強にならなかった

a	b	c	d	未記入
38	7	1		



B. 感想があれば一言。

- ・とてもわかりやすかった
- ・具体的な例もありわかりやすかった
- ・症例もあり、実践的で分かりやすかった
- ・症例を用いての講義がとても勉強になった
- ・基本的な内容で改めて勉強になった
- ・基本～実践まで大変分かりやすかった
- ・大変勉強になった。業務に生かしたいと思う。ありがとうございました
- ・わかりやすい説明と症例でどのようなことに気を付けながら指導していけばいいか知ることができた
- ・とてもわかりやすい内容で丁寧に教えていただき、よかった
- ・とてもわかりやすい話し方で、聞きやすかった。改めて行動変容について考えられた
- ・行動変容を意識した指導をしていきたい。分かりやすい内容でよかった
- ・行動変容につながるアセスメントやアプローチ方法の再確認が出来た
- ・行動変容のステージ別の具体的な症例と声のかけ方があって分かりやすかった
- ・行動変容のステージに合わせた指導があまりできてなかったように思われる
- ・聞き取りから行動変容ステージを推測し、対応していきたい
- ・メタボリックシンドロームとフレイルの理解。栄養指導の際の行動変容モデルでのアプローチを一つずつ確認していくことが大切であると感じた。とてもわかりやすい内容であったので、実践していきたい
- ・栄養指導の際、相手の行動変容のステージを見極めながら、患者の気持ちに共感したり、アドバイスをすることで、より相手に伝わりやすくなるのが改めて分かり、業務に活かしていきたいと思った
- ・ほかの参加者の方が言われた通り、宮島先生から生化学を学びたかったと思うくらい生化学と食が大きくつながっていることが理解できた。行動変容ステージモデルを理解しそれをベースに栄養指導に活用することが基本だなと再認識できた
- ・日頃の業務でも、疾患ごとの制限食とフレイル予防のための食生活とのシフトチェンジに直面する場面が多く、大変勉強になった
- ・栄養指導はやはり難しいと感じた。フレイルの方に対する指導についてより聞きたかった
- ・現状をしっかりと把握することができて、より勉強になった
- ・1つ1つ原因を患者に伝えるためにももちろん知識があるのは必須だが、どのように噛み砕いて指導していくか勉強になった
- ・対象者にわかりやすく伝えるためにも、自分自身が情報の根拠まで理解するようにしたい
- ・患者とあせらず、一步步改善できるような指導にしていきたいと思った
- ・患者に寄り添った指導を心掛けたいと思った
- ・1つ1つ丁寧に教えていただけ、自分の抜けているところも認識できた。お話を伺えてとてもよかった
- ・明らかな食事療法が必要な方ほど、“現状”を理解していない。患者に合わせプログラムすることが必要だと思った
- ・CTによる評価がなるほどとためになった。日々の業務の振り返り、まとめができた
- ・栄養指導の業務はほぼないが、入院患者にも応用できる内容で勉強になった
- ・疾病に対する栄養指導とやせに対する栄養指導の両方があるときアセスメントをしっかりやっていたらよかった
- ・声のトーン、スピード、内容等どれも非常に良かった
- ・とても聞きやすく、面白く聞かせてもらった。Youtubeの勉強会も参加します！

3. 今回の研修会は、どこで受講しましたか？

受講会場	病院（職場）	自宅
15名	29名	2名

4. 今回のハイブリッド形式の研修会はいかがでしたか？ 参加された感想やご意見を、ぜひお聞かせ下さい。

- ・参加しやすかった
- ・遠方からでも参加しやすく、助かった
- ・研修会場まで行かずにすむのでとても助かる
- ・移動時間がなく、時間を有効に使うことができた
- ・移動時間が必要ないので、業務と両立しやすく参加しやすい
- ・移動時間がなく参加できたのでありがたかった
- ・オンラインでの参加が可能だったため参加しやすかった
- ・オンラインでも参加できて良かった
- ・参加しやすく良かった。今後もハイブリッド形式が良い
- ・参加しやすく、病院からの外出にならないので良かった
- ・ハイブリッド形式か参加方法が選べてありがたいので続けてほしい
- ・少ない人数での勤務なのでオンラインで参加できるハイブリッド形式はよかったと思う
- ・職場にいながら参加できるのはありがたい。臨場感には欠けますが・・・
- ・業務の続きのように参加できてよい。講師の話が聞き取りやすい。グループワークが簡単にできて良い
- ・Zoomの参加者の方とも意見交換することができてよかった
- ・グループワークもありよかった
- ・グループでのソーシャルスタイルについてのブレイクアウトが良かった
- ・グループワークの参加必須は、つらいですね
- ・Webでもグループワークがあって、コミュニケーションがとれてよかった。自分も気になる内容だったので勉強になった
- ・グループワークでは顔の見える環境があり、チャットなどで意見交換もできてよかったと思った
- ・チャットを初めて使用したが、簡単かつ本音で話しやすくて良いと思った
- ・グループワークがあることを知らなかったなので、マイク付きのイヤホンをもっていなかったため、声がだせずチャットでのワークとなってしまって残念でした。次回までに購入しておきます
- ・講師の先生含め、今後は全員Zoomにしてもよいと思う。そして受講料がもう少し安くなればいいのですが・・・
- ・良かったが、自分自身のパソコンスキルが低すぎて、ついていけなかった
- ・2つの講演は両方とも興味深く勉強になった
- ・コーチングという栄養分野学のことも聞けて充実した内容だった
- ・会場参加のほうが、集中して聞きやすいが、遠方の方にとってはオンラインがあれば参加しやすいと思う

- ・現地は久しぶりで楽しかった
- ・久しぶりに会場で参加できてよかった
- ・わかりやすくよかったと思った
- ・とても勉強になった
- ・本日はありがとうございました。オンデマンドも取り入れてほしい

5. 今後、研修を受けたい講師名とその内容。

〔講師名〕

- ・今回の2人の先生の第2弾を期待
- ・喜多川泰氏、本を読んで感銘を受けたので
- ・多職種と連携した栄養管理について 講師：佐藤亮介先生

〔内 容〕

- ・心機能、腎機能の研修+利尿剤の使い方（高齢者も含めた）
- ・摂食嚥下について、肝疾患の栄養管理、アミノレバンや肝不全用経腸栄養剤使用時の食事内容
- ・栄養士目線の病態の勉強会

管理栄養士	栄養士	未記入
44名	1名	1名

〔年 齢〕	〔経 験 年 数〕	〔役 職〕			
20～29才	8	1年未満	1	課（科）長、室長	9
30～39才	16	1年～4年11カ月	7	主任	7
40～49才	10	5年～9年11カ月	9	副主任	3
50～60才	11	10年～14年11カ月	5	主査	1
60～		15年～19年11カ月	8	なし、未記入	26
未記入	1	20年～24年11カ月	2		
		25年～29年11カ月	9		
		30年～	4		
		未記入	1		